

# 山形県地域密着型サービス外部評価結果報告書

## 評価結果報告書

### 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

※自己評価項目番号26 馴染みながらのサービス利用  
自己評価項目番号39 事業所の多機能性を活かした支援  
については、小規模多機能型居宅介護事業所についてのみ記入

事業所番号	671400281
法人名	医療法人社団 緑愛会
事業所名	グループホーム 香紅の里
訪問調査日	平成 19 年 11 月 1 日
評価確定日	平成 20 年 1 月 8 日
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会

#### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

#### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

#### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかかぬ場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月26日

## 【評価実施概要】

事業所番号	671400281		
法人名	医療法人社団 緑愛会		
事業所名	グループホーム 香紅の里		
所在地 (電話番号)	山形県村山市楯岡俵町20番19号 (電 話) 0237-52-1001		
評価機関名	山形県国民健康保険団体連合会		
所在地	山形県山形市松波四丁目1番15号		
訪問調査日	平成19年11月1日	評価確定日	平成20年1月8日

## 【情報提供票より】(平成19年9月21日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成18年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤	13 人, 非常勤 0 人, 常勤換算 13 人

### (2) 建物概要

建物形態	○併設/単独	新築/改築
建物構造	鉄骨 2階建ての	造り 1階 ~ 2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	57,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費400円(日額)、他実費
敷 金	有( 円)	○無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	250 円	昼食 250 円
	夕食	300 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

### (4) 利用者の概要(9月21日現在)

利用者人数	17 名	男性	7 名	女性	10 名
要介護1	5 名	要介護2	6 名		
要介護3	6 名	要介護4	名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 81.06 歳	最低	71 歳	最高	95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	奥山内科循環器科クリニック	きはら歯科クリニック
---------	---------------	------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

法人の理念である「こ・こまやかな気配り や・やさしい笑顔 ま・まごころ込めたおつき合い」を大切に実践して個別のケアに力を入れ、夢や希望をかなえることに喜びを感じていただく取り組みを行っています。  
サービスの向上のため、専門性の高い職員を育成することに力を入れ、認知症のある方に対して専門性の質の高いケアを実践しているホームです。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 入り口のコルクボードに貼られたホームの運営理念と他の印刷物が重なり、見えにくい状況が前回調査時には見られたが、今回調査時には見やすいように改善されていた。
	②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 各ユニットのリーダーを中心に話し合いを行い自己評価を行っている。外部評価を行うことの意義を理解し、昨年の評価についての改善点はすみやかに取り組み改善した。
重点項目	③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 2ヶ月に1度運営推進会議を実施している。外部評価への取り組みや事故報告・苦情報告を行ったり、委員の方から地区の防災訓練への参加の誘いをいただいたり、無断外出時の協力をいただいたり、意見交換などサービス向上に活かしている。
重点項目	④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) アンケートを実施し意見をいただいております、すみやかにサービスに反映している。また、利用開始時、家族の方に重要事項説明書にて、外部者へ表せる機会や機関をお知らせしている。
重点項目	⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 自治会に加入し、地区の防災訓練に参加したり、小学生の通学時の見守り隊として小学校から依頼されている。また、授業参観や地域の行事に参加したり、地域の方にホームのお茶会に参加してもらっている。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「その人らしさと生きがいを大切に、笑顔とやすらぎのある家。～私達は家族です～」という理念を作り上げているが、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容とはなっておらず、検討途上の段階にある。	○	地域密着型サービスの役割について、すべての職員による確認と理解をさらに進めながら、グループホームが地域密着型サービスとして果たすべき役割も反映させた理念の内容としていく取り組みが期待される。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関に理念を掲げ毎日確認している。研修や日頃から「自ら受けてみたいサービス」のもと、お客様中心の生活に取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、地区の防災訓練に参加したり、小学生の通学時の見守り隊として小学校から依頼されている。また、授業参観や地域の行事に参加したり、地域の方にホームのお茶会に参加してもらっている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	各ユニットのリーダーを中心に話し合いを行い自己評価を行っている。外部評価を行うことの意義を理解し、昨年の評価についての改善点はすみやかに取り組み改善した。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度運営推進会議を実施している。外部評価への取り組みや事故報告・苦情報告を行ったり、委員の方から地区の防災訓練への参加の誘いをいただいたり、無断外出時の協力をいただいたり、意見交換などサービス向上に活かしている。		

山形県 グループホーム香紅の里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	毎月、介護保険事業者連絡会に参加したり、グループホームのお便りや空き情報を市町村担当に提供している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月担当者が、個々に合わせて生活状況のお便りを送ったり、写真を同封したりしている。また、毎月出納簿と領収書を家族の方に確認していただいている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	アンケートを実施し意見をいただいております、すみやかにサービスに反映している。また、利用開始時、家族の方に重要事項説明書にて、外部者へ表せる機会や機関をお知らせしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの職員による支援が受けられるように配置異動を行い、職員が交代する場合でも、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	ユニット間の交流を行い、他のユニットの職員と利用者との関係作りを行ってからの異動を行い、最小限のダメージですむように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人が行う全国研修会、グループホーム連絡協議会の研修会、新人研修、県の認知症実践研修などに積極的に参加している。また、「教育委員会」があり、働きながら勉強会を行い質の良いサービスを提供できるように取り組んでいる。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の研修、県主催の認知症研修への参加を通して、地域の同業者との交流の機会、ネットワークづくりや勉強会などを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<b>【小規模多機能型居宅介護のみ】</b> ○馴染みながらのサービス 利用本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事の準備の際に味付けや調理方法を教えていただいたり、農作業の方法を教してもらったり、いろいろな場面でアドバイスをもらっている。また、自宅の訪問や仕事の話、不安なことは一緒に考えるようにしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	課題分析シートを利用したり、利用者の方から聞き取りを行い「その人らしさ」に重点を置きながら、お墓参り・自宅訪問・入浴・散歩など、意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の意向、担当職員・ユニット職員のアイデアや意見を出し合いサービス担当者会議を行い、趣味を活かしたプランなどの利用者本位の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月または6ヶ月に期間を設定して見直しを行っている。また、状態の変化などがあった場合はその都度、本人・家族、関係職員で話し合いを行い、新たな介護計画を作成している。		

山形県 グループホーム香紅の里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<b>【小規模多機能型居宅介護のみ】</b> ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、 事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をして いる	(小規模多機能型居宅介護のみの調査項目)		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、かかりつけ医 と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受け られるように支援している	毎月、主治医より往診にきていただいている。主治医は、グループホーム利用前のかかりつけ医を継続したり、協力医院により対応している。家族の協力により通院する場合やグループホームで対応したり、適切な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、でき だけ早い段階から本人や家族等ならびにかかり つけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有 している	本人や家族の希望・意向を聞きながら、かかりつけ医と相談してその都度話し合いを持ち、状況に応じた対応をしている。家族・本人に対して、グループホームの状況を詳しく説明し理解をいただいている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言 葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをして いない	利用者の人権や人格を傷つけないような態度や言葉 使用を行うよう、日頃から自己評価や法人独自の評価 方法により取り組みを行っている。また、外部に出るパン プレットなどは家族や本人に必ず同意を受けて行うよ うにしている。記録等は目の触れない場所で管理して いる。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切に、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴・散歩・買い物などは毎日聞き取りを行い対応して いる。 また、畑づくりや食事の準備、趣味など個別ケアに努め ている。		

山形県 グループホーム香紅の里

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	自分達で栽培した野菜を畑から採ってきて調理し、味付けや盛り付け・配膳など利用者と職員と一緒にやっている。一人ひとりに合わせた量や形状の工夫を行い、職員も一緒に同じテーブルで食事を摂りながら好みや状況を把握している。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日24時間入浴できる体制を取っており、希望やタイミングに合わせて入浴ができるよう取り組んでいる。好みの石鹸やシャンプーの使用、温泉が好きな方には温泉に行くなどの対応を行っている。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備や後片づけ、掃除や花の水やりなど利用者に合わせた役割を行っていただいている。また、絵・ハーモニカ・習字・塗り絵・ドライブなど、個別ケアによる気晴らしや楽しみの支援を行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の散歩や買い物、自宅への帰省、温泉、外食など個別に合わせて取り組みを行っている。また、外出したい仕草が見受けられた時は、無理に静止せずに職員が同行して対応している。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、環境や利用者の状態を考慮しながら鍵をかけないで安全に過ごせるような工夫に取り組んでいる。	利用者の気配に目配りし、職員が付き添う形で外出の見守りを行っている。職員は鍵をかけることの弊害について研修を行い、併設の施設の協力や自治会の協力など、安全に過ごせるための取り組みが行われている。日中の施錠は行っていない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練を実施し、誘導の経路など日頃より確認しており、夜間を想定した訓練も計画されている。避難場所の確保や非常食を確保している。災害時には自治会の協力体制も得られるようになっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量や水分量について記録を行い、十分な量の確保に注意を払っている。カロリーだけに重点を置かず30品目に重点を置き、利用者の好みや状態に合わせた支援を心がけている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	畳のスペースや掘こたつ、床の間には掛け軸があり、大きな窓からは畑が見え野菜の成長も確認できる空間となっている。リビングが広いため車椅子での移動も自由にでき、また、洗濯物を干すスペースがあり、利用者と共に作業が行える。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	机・布団・家族の写真・人形・位牌・植木鉢・出身地の広報紙が置かれ、一人ひとりの好みに合わせた居室になっている。		